

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ①専門分野の美容の知識や技術を習得できる企業や業界に理解を深めてもらい、さらに協力を得られるような連携を推進する。
- ②必修科目である実習において、年間10時間から20時間程度店舗に向き、美容技術や接客の心得を直接学ぶ機会を設定する。
- ③選択科目である総合技術において、卒業年次に年間4時間程度、就労するにあたっての心構え、試験面接に関する対応、仕事に就いてからの留意事項等を企業や卒業生から聞く。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

本校の諮問機関として位置づけ、本校のカリキュラムや学習内容、方法について幅広く意見を聴き、教育課程の改善に資する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

| 名前     | 所属                   | 任期 | 種別 |
|--------|----------------------|----|----|
| 高橋 正昌  | 株式会社チャームランドリー        | 2年 | ③  |
| 土井 真紀子 | 鳥根県美容業生活衛生同業組合       | 2年 | ①  |
| 岡 信孝   | (有)オカコーポレーション        | 2年 | ③  |
| 芦谷 英夫  | 浜田市議会議員              | 2年 | ①  |
| 井田 貴大  | 学校法人白蓮学園             | 2年 |    |
| 岩迫 輝彦  | 学校法人白蓮学園清明理容学校       | 2年 |    |
| 宇谷 緑   | 学校法人白蓮学園浜田ビューティーカレッジ | 1年 |    |
| 奥本 千栄子 | 学校法人白蓮学園浜田ビューティーカレッジ | 2年 |    |

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

理事長の招集により本校にて開催する。教育課程編成時期を踏まえて年2回以上開催する。28年度は7月、11月予定

(開催日時)

- 第1回 平成27年12月7日 13:55～15:05
- 第2回 平成28年3月7日 14:00～15:15
- 第3回 平成28年7月25日 13:00～14:15

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

第1回、第2回の委員会では実務実習の学年、時期、時間について意見が出た。今年度は次の2点について改善を図った。

- ①「卒業年度の後半の1日では、その趣旨が生かせず店舗の実際も理解できない。」という意見があり、他の委員も同意見であった。そこで、店舗での実務実習を専門課程1年生が9月にサロンのスタッフと同じ時間帯で3日間の実習を行うこととした。今年度は8月下旬に実施。現場の実際に理解を深め、指導者や先輩美容師の動きから多くのことを学ぶ機会となった。
- ②卒業の専門課程2年生に対しては、総合技術の時間に現場で頑張っている卒業生を招聘し話を聴く時間を設定した。「学生時代と美容師時代の意識の違いや、学生時代にもう少し頑張っておけばよかったと反省していることなどアドバイスを受けてはどうかという意見があったので取り入れた。

(別途、以下の資料を提出)

- \* 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- \* 教育課程編成委員会等の規則
- \* 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- \* 学校又は法人の組織図
- \* 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ① 企業やサロンとの連携を密にし、学生の就労意識を高めると共に美容技術の向上に努める。
- ② 本校では以前より薬剤メーカーの支援を過去継続して受けており、特にケミカルと呼ばれるヘアカラー、パーマ、毛髪科学の教育をお願いする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

- ① 科目「美容実習」において高度な美容技術の習得を図る。美容師法の制限から、学生への授業は本校教員が主催し、企業派遣の講師は、インストラクター・デモンストレーター資格で授業を進める場合もある。
- ② 接客(カウンセリングマインド)の心得習得及び態度を実際のサロンで実践する。
- ③ 職業意識の高揚につなげるために、実習先と学校が、実習内容やその評価観点等について、事前・事後の打ち合わせを行う。

(3) 具体的な連携の例

| 科目名  | 科目概要                      | 連携企業等                                                  |
|------|---------------------------|--------------------------------------------------------|
| 美容実習 | ヘアカラーの理論と実習               | ホーユー株式会社                                               |
| 美容実習 | 接客、タオル洗濯、清掃、アシスタント等のサロン実習 | 株式会社チャームランドリー<br>メリイメリイ浜田店<br>ビューティーサロンまきこ<br>美容室・マジック |
|      |                           |                                                        |

(別途、以下の資料を提出)

- \* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員研修は、本校研修規定に基づき、教員の専門分野の知識・技術向上、新時代に相応しい教育内容にすると共に、教員の指導力の向上、人格の涵養に資するために行う。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・日本理容美容教育センターが実施する資格取得研修には新たな資格取得をめざし、常勤教員を積極的に受講させた。これに伴い、非常勤講師が担当していた授業科目を常勤教員が担当するように変更してきた。(4/2～4/5.4/9 H28 1/23)
- ・実習授業の指導については、1年担任が薬剤メーカーにより最新の情報と技術の指導を受け、業界に遅れることのない知識と技術を修得するよう努めた。(11/10)

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・全体研修は中国地区理容美容学校協議会主催の施設長会議、教職員の研修会に毎年参加し、限られた分野に関しては個人毎に行っている。(校長、常勤教員 10/31～11/1) (7/16 校長)
- ・人権・同和教育研修に参加し、人権感覚を磨いた。(8/30 人権・同和教育担当職員)
- ・校内ではADHDの症状や対応を学び、学生理解に努めた。(7/21 常勤教員3名、非常勤2名)

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・例年の研修には積極的に参加する。
- ・各種技術大会の前には、事前研修を行い、教職員の技術交流を行う。(学生の予行練習を兼ねる。)

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・島根県専修・各種学校連盟主催の専修学校フェスティバル、全国理容美容教育センター主催の全国理容美容学生技術大会中国地区大会が浜田市で開催される。本校は地元校、受け入れ校として運営に関わっている。他校の指導や教員との情報交換を行い、指導に生かしていく。
- ・職員会議を定期的に関き、議題として、生徒理解、指導法について協議し、共通理解を図りながら実際の指導にあたる。

(別途、以下の資料を提出)

- \* 研修等に係る諸規程
- \* 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- \* 研修等の計画(推薦年度における計画)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修(1)学校関係者評価の基本方針

本校の実情に詳しい業界の方や卒業生、さらには市民を代表するような方に評価委員をお願いし、幅広く意見を伺い今後の学校運営に生かしていく。本校は小規模校のため、教育課程編成委員と兼ねて学校関係者評価委員をお願いしている。PDCAサイクルの中で具体的な話し合いが可能となり次年度につながる成果をあげていく。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目   | 学校が設定する評価項目                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)教育理念・目標    | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の理念、目的、育成人材像は定められているか。</li> <li>学校の理念、目的、育成人材像、特色が保護者等に周知されているか。</li> </ul>                                                                                                                                              |
| (2)学校運営       | <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に沿った学校運営方針や事業計画が策定されているか。</li> <li>運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか。</li> <li>教務、財務等の組織整備は適切に行われているか。</li> <li>人事、給与に関する規程は整備されているか。</li> <li>教育活動に関する情報公開が適切に行われているか。</li> </ul>                                                 |
| (3)教育活動       | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の編成・実施方針が策定されているか。</li> <li>学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。</li> <li>成績評価・単位認定、進級、卒業の基準は明確になっているか。</li> <li>資格取得目標に向け指導体制、カリキュラム等の取組が行われているか。</li> <li>人材育成目標達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか。また、職員の能力開発のための研修等が行われているか。</li> </ul> |
| (4)学修成果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>就職率の向上が図られているか。</li> <li>資格取得率の向上が図られているか。</li> <li>退学率の低減が図られているか。</li> <li>卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。</li> </ul>                                                                                                        |
| (5)学生支援       | <ul style="list-style-type: none"> <li>学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。</li> <li>卒業生への支援体制はあるか。</li> </ul>                                                                                                                                                                |
| (6)教育環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                 |
| (7)学生の受入れ募集   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学生募集活動は、適正に行われているか。</li> <li>学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。</li> <li>学納金は妥当なものになっているか。</li> </ul>                                                                                                                            |
| (8)財務         | <ul style="list-style-type: none"> <li>予算・収支計画は有効活用なものになっているか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                         |
| (9)法令等の遵守     | <ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                          |
| (10)社会貢献・地域貢献 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                |
| (11)国際交流      |                                                                                                                                                                                                                                                                   |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

・保護者理解のため、家庭訪問をしてはどうかという意見があったが、遠隔地からの生徒が多い実情から、28年度は学校通信を学期に1回発行して、理念、生徒の活躍、支援の実態等伝えることにした。  
 ・浴衣ショー、地域貢献の話題が出た。オープンキャンパスで地域の夏祭りにあわせて浴衣の着付けやヘアアレンジを体験の内容に加えることとした。  
 ・HPの情報量を増やし、学校評価についての項目も掲載することになった。多くの情報が公開できたのは、委員会でご意見をいただいたことが大きい。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

| 名前     | 所属             | 任期                     | 種別    |
|--------|----------------|------------------------|-------|
| 高橋 正昌  | 株式会社チャームランドリー  | 平成27年11月21日～平成29年3月31日 | 企業等委員 |
| 土井 真紀子 | 島根県美容業生活衛生同業組合 | 平成27年11月21日～平成29年3月31日 | 企業等委員 |
| 岡 信孝   | (有)オカコーポレーション  | 平成27年11月21日～平成29年3月31日 | 企業等委員 |
| 芦谷 英夫  | 浜田市議会議員        | 平成27年11月21日～平成29年3月31日 | 企業等委員 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(○ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) 平成28年 8月 31日 )

URL: <http://www.hamada.ac.jp/>

(別途、以下の資料を提出)

- \* 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- \* 自己評価結果公開資料
- \* 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業は最新の情報と技術を有し、美容室は直接接客して、間近に顧客の要望、ファッション、トレンドキャッチしている。これらの人々と情報を交換することは、美容学校の教育向上に書くことのできないものである。学校も学校のありのままの姿を見ていただき、改良点をアドバイスしていただくことが肝要だと考えている。関係者の学校に対するご理解を得るためHPの充実や学校通信「浜田BCだより」を発行するなど情報を積極的に提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目         | 学校が設定する項目                       |
|-------------------|---------------------------------|
| (1)学校の概要、目標及び計画   | 学校基本情報、経営方針、沿革、学園の理念・目標、使命、基本方針 |
| (2)各学科等の教育        | 専門課程、高等課程、通信課程、多様な資格を取得可能       |
| (3)教職員            | 専門課程教職員数、教職員一覧                  |
| (4)キャリア教育・実践的職業教育 | キャリアサポート、主な就職先                  |
| (5)様々な教育活動・教育環境   | HBCグランドコンテスト、年間スケジュール           |
| (6)学生の生活支援        | 学生サポート                          |
| (7)学生納付金・修学支援     | 学費、奨学金                          |
| (8)学校の財務          | 平成27年度資金収支計算書                   |
| (9)学校評価           | 自己評価平成27年度、学校関係者評価平成27年度        |
| (10)国際連携の状況       |                                 |
| (11)その他           |                                 |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: <http://www.hamada.ac.jp/>      パンフレット (SCHOOL GUIDE 2017)      学校通信「浜田BCだより」

(別途、以下の資料を提出)

\* 情報提供している資料

|         |        |                                                          |      |              |
|---------|--------|----------------------------------------------------------|------|--------------|
| 事務担当責任者 | フリガナ   | ウタニ ミドリ                                                  | 所属部署 | 浜田ビューティーカレッジ |
|         | 氏名     | 宇谷 緑                                                     | 役職名  | 校長           |
|         | 所在地    | 〒697-0022島根県 浜田市浅井町1429番地20                              |      |              |
|         | TEL    | 0855-22-7130                                             | FAX  | 0855-22-7145 |
|         | E-mail | <a href="mailto:info@hamada.ac.jp">info@hamada.ac.jp</a> |      |              |

(備考)

・用紙の大きさは、日本工業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)